市政を問う 一般質問 要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからＱＲコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会　議会中継」のページに遷移します。

（QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

今こそ子育て支援や健康施策を／物価高対策を実施しよう

橋本孝二議員（市議会公明党）

持続可能な福祉の充実を目指し今こそ子育て支援や健康施策を

質問　①東京都の小児インフルエンザワクチン任意予防接種補助事業を早期に実施すべきでは。

②５歳児健診の導入は。

市長　①小平市医師会の意見等を参考にしながら、市の財源も踏まえ実施の可否を検討する。

②就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制整備は重要である。実施には財源の確保だけでなく、保健、医療、福祉、教育の各分野の関係者が連携して地域のフォローアップ体制を構築する必要がある。引き続き課題への対応を進めていく。

市民の声を反映した物価高対策を実施しよう

質問　①消費喚起を促す事業者支援策を実施すべきでは。

②不用額や基金の活用等、財源をつくり見つけ出し、物価高対策を講ずるべきだが見解は。

市長　①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市内消費促進キャンペーン補助事業を、令和７年度一般会計補正予算第３号で提案している。

②７年度は約12億７千万円の物価高騰対策支援を実施予定で、国の交付金を活用しつつ市の一般財源も約２億円出動させている。引き続き積極的に取り組む。

戦略的な広報とシティプロモーションの推進を／業務にＡＩを

深谷幸信議員（自民党小平政和会）

戦略的な広報とシティプロモーションの推進を

質問　①シティプロモーションの基本戦略の策定は。

②[※2]ＵＸライティングを取り入れた情報発信への見解、取組は。

市長　①現在、策定の考えはないが、広報活動ガイドラインの見直しや研修等での周知により、今後の情報発信の強化に努め、シティプロモーションを進める上での考え方を整理していく。

②掲載内容のわかりやすさ向上により利用者満足度の向上等につながる。ＧｏｖＴｅｃｈ東京のプロジェクト型伴走サポートを活用したアドバイスも受けられるため、今後活用を検討する。

業務に、もっとＡＩを

質問　①この２年間における生成ＡＩの利用についての評価は。

②新たなＡＩサービスの導入を進めてはどうか。

③最高ＡＩ責任者（ＣＡＩＯ）設置を国は求めているが見解は。

市長　①利用率は全職員の２割以上に達しており、事務効率化に寄与していると評価している。

②ＧｏｖＴｅｃｈ東京で開発中の、生成ＡＩを活用したアプリケーション作成のための共通基盤を活用できるか検討する。

③国の動向も踏まえ検討する。

資源循環型社会構築のために／猛暑からこどもたちの命を守る

髙橋政美議員（市議会公明党）

資源循環型社会構築のために

質問　①不要となった品物を手軽に持ち込める[※1]ジモティースポットを開設し、さらなるリユース促進を目指すべきだが見解は。

②リチウムイオン電池回収キャンペーンを実施し、安全な排出方法などを市民に案内しては。

市長　①ごみの減量等に資する有効な取組だが、開設に必要な施設の確保など課題があるため、今後設置の可能性を検討する。

②市でリチウムイオン電池が原因とされるごみ収集車の火災が発生しているため、環境イベント等を活用した回収方法の検討と排出方法の周知に努める。

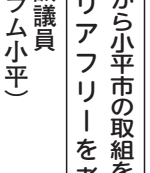
猛暑からこどもたちの命を守るために

質問　①近年の異常な暑さの捉えとこどもの命を守る対応は。

②市立学校に給水スタンドを設置すべきと考えるが見解は。

市長　①こどもを含む市民が正しい知識を持ち、水分補給等の適切な熱中症予防行動を取ることが一層重要である。熱中症警戒情報の周知、市ホームページ等で熱中症予防行動の実践を促すなど健康被害の防止に努める。

教育長　②現在、設置は考えていないが、国や東京都の動向を踏まえ他市の取組を注視する。



最近の事故事例（ＰＦＡＳ等）から小平市の取組について伺う／選挙バリアフリーを考える

岩本　誠議員（フォーラム小平）

最近の事故事例（ＰＦＡＳ等）から小平市の取組について伺う

質問　①学校等の市内施設における、ＰＦＡＳを含む泡消火剤の保管状況を把握しているか。

②市管理の下水道施設等における調査、点検時の安全確保は。

市長　①泡消火設備の所在は把握しているが、泡消火剤にＰＦＡＳが含まれているかは把握していない。消防事務を都に委託しており、泡消火剤の状況は都が確認していると認識している。

②職員が調査等を行う場合、酸素欠乏症等危険作業主任者の指揮の下、作業を行うなどしている。委託事業者に対しては調査計画書の提出を求め、作業員の安全確保を図っている。

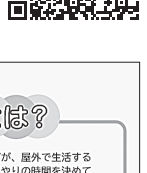
選挙バリアフリー対策を考える

質問　①個人ごとの事情に合った配慮ができる旨を周知するための投票配慮カードを、入場整理券送付時に同封できないか。

②投票練習として模擬投票は有効だが、３年間の実績は。

選挙管理委員会事務局長　①同封物が増えることで選挙人が混乱する等の課題がある。今後同封に限らない案内を検討する。

②令和４年度は８回、令和５年度は10回、令和６年度は７回、市内の学校を中心に実施した。



まちの課題解決を公民連携で加速化すべき／課題解決に公民連携を／置き勉とフリースクール上乗せ助成を

中江美和議員（フォーラム小平）

まちの課題解決を公民連携で加速化すべき

質問　①商店会が設置する街路灯の維持管理を市に移管してほしいという要望があるが見解は。

②民間事業者からの提案、相談、アイデアを受け付ける専用窓口を構築するべきだが見解は。

市長　①商店会の維持管理が困難な状況は把握している。現在、電気料金の10分の９相当額を、撤去を希望する場合は費用の20分の19相当額を補助している。

②現在実施している協働事業と趣旨が重なる部分もあることから、公民連携デスクの窓口の整理と並行して検討していく。

置き勉の取組とフリースクール利用料の上乗せ助成をするべき

質問　①児童・生徒の負担軽減のため、全校で統一的に置き勉を実施すべきだが見解は。

②東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に加え、市で上乗せ助成導入への見解は。

教育長　①国の通知を踏まえ、教科書等が過重にならないように各学校が適切に対応している。

②現在、市独自の助成を実施する予定はない。引き続き、東京都の助成金を周知等し、関係者との連携に取り組むことで、フリースクール等を利用する不登校児支援を進めていく。

小平を緑のまちに／外国人との共生社会／保護活動の後押しを

幸田昌之議員（市議会公明党）

小平を緑のまちに残る緑のまちに

質問　保存樹林を減らさないための施策を検討すべきでは。

市長　良好な緑地の保全には公有地化に向けた多額の財源等が必要である。引き続き、国や東京都の支援制度等を注視し、様々な視点での検討が必要である。

秩序ある外国人との共生社会の実現へ

質問　外国人との共生に向けたルールづくりが必要だが見解は。

市長　令和７年度、外国人と日本人に多文化共生のアンケートを実施する。この結果等により外国人との共生に対する課題等の把握に努め、ルールづくり等の対応方法を検討していく。

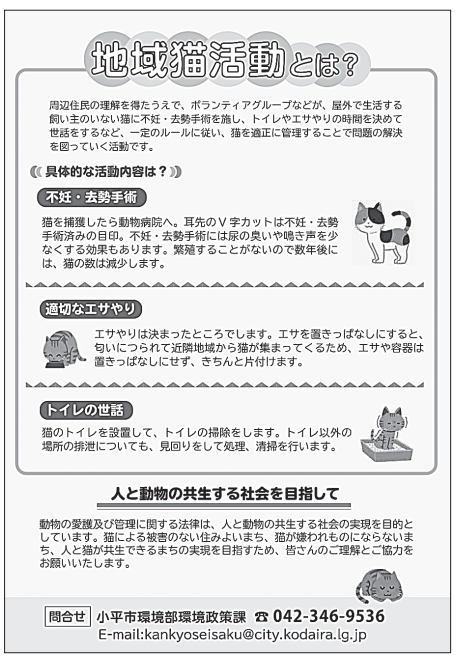
動物の保護活動をさらに後押しするために

質問　猫の保護、譲渡に係る費用補助の課題と今後の対策は。

市長　令和６年度から８年度までの３年間に限り、東京都から全額補助を受け実施しているため、市の補助制度が終了した９年度以降の地域猫活動団体の安定的な活動の継続が課題である。そのために様々な方法を考え、団体と意見交換を行っていく。

【掲載分以外の質問項目】

○衛生面の防災対策を進めよう



地域猫活動を周知するポスター

一般質問の詳細については市議会ホームページの議会中継をご覧ください。https://smart.discussvision.net/smart/tenant/kodaira/WebView/rd/council_1.html